

九州中央自動車道にて横軸交通が改善！ 災害時等の輸送機能向上にも期待！

- 熊本地震で国道445号等の多くの道路が通行止めとなり、国道218号の貨物車交通量は200%以上増加。熊本市-延岡市間の所要時間は迂回や混雑で最大約20分増加。
- 九州中央自動車道が整備されれば、熊本市-延岡市間の所要時間は約100分短縮され(180分→80分)、早期の復旧・復興支援に貢献！

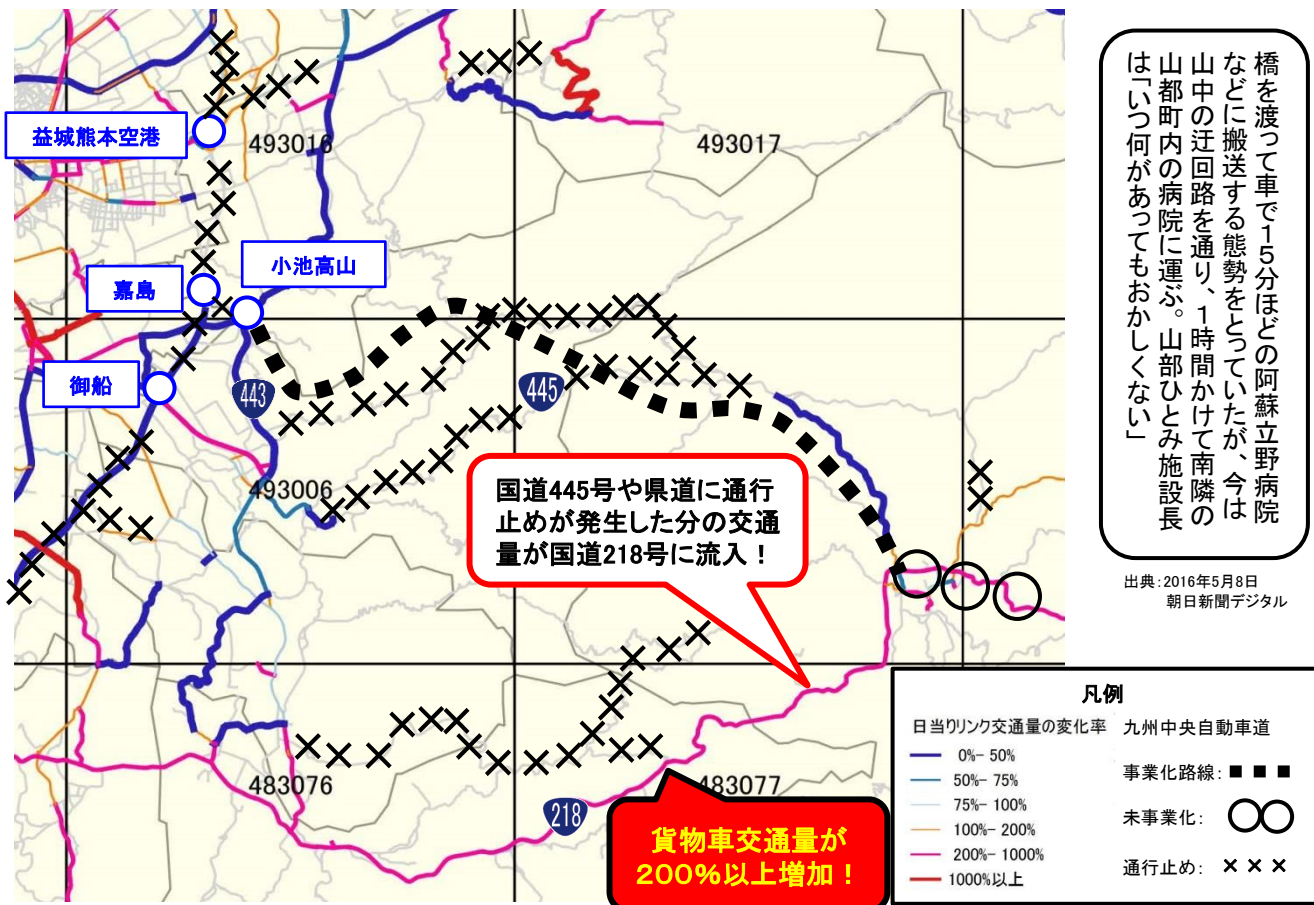


図1: 国道445号周辺の震災後(2016年4月16日)の被害状況と周辺道路の貨物車関連交通量変化率

資料: 商用車プローブデータ(主に中型車以上の貨物車)(震災前: 2015年4月16日~4月28日、震災後: 2016年4月22日~4月28日)

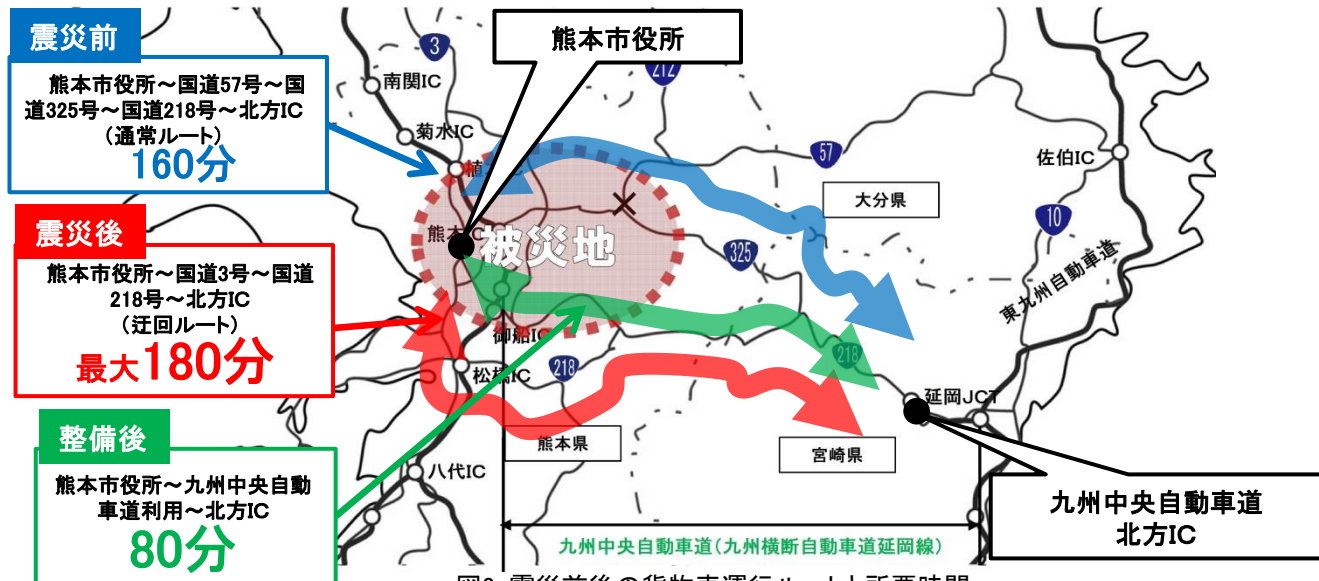


図2: 震災前後の貨物車運行ルートと所要時間

資料: 商用車プローブデータ、民間プローブデータ

(整備後は九州中央自動車道(北方IC~嘉島JCT)を既開通区間の規制速度80km/hで走行したと仮定し、嘉島JCT~熊本市役所間民間プローブデータを活用し所要時間を算出した。)

九州中央自動車道で大幅時間短縮！ 救急医療施設等へのアクセス向上！

- 第三次医療施設は熊本市内や延岡市内の都市部に存在するため、中山間地では救急搬送に時間を要する。県東部や宮崎県北西部は第三次医療施設60分圏域のエリア外となり、安心な生活に課題。
- 九州中央自動車道の整備により、中山間地から第三次医療施設への到達時間が短縮。五ヶ瀬町等は60分以内到達可能エリアに改善！

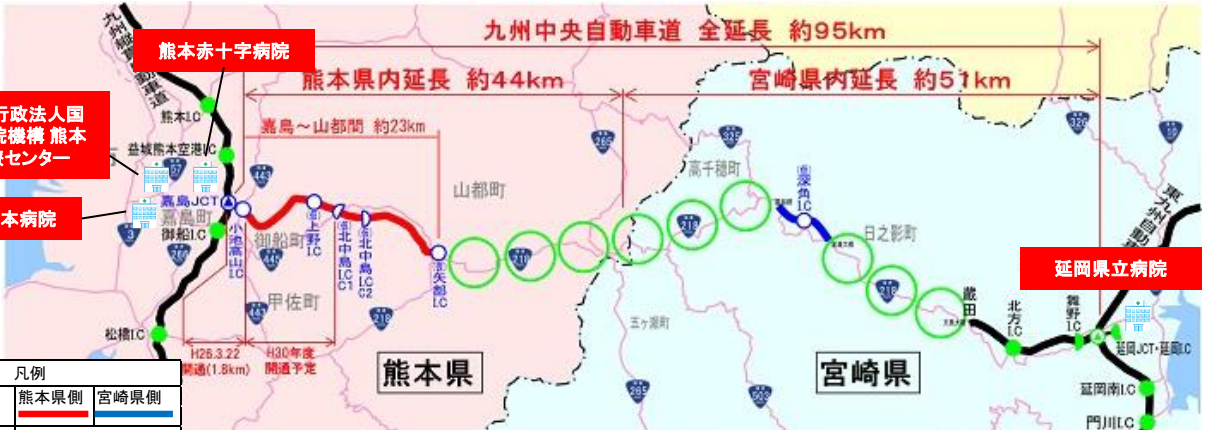


図1: 九州中央自動車道路線図と第三次医療施設の位置

出典: 熊本県HP

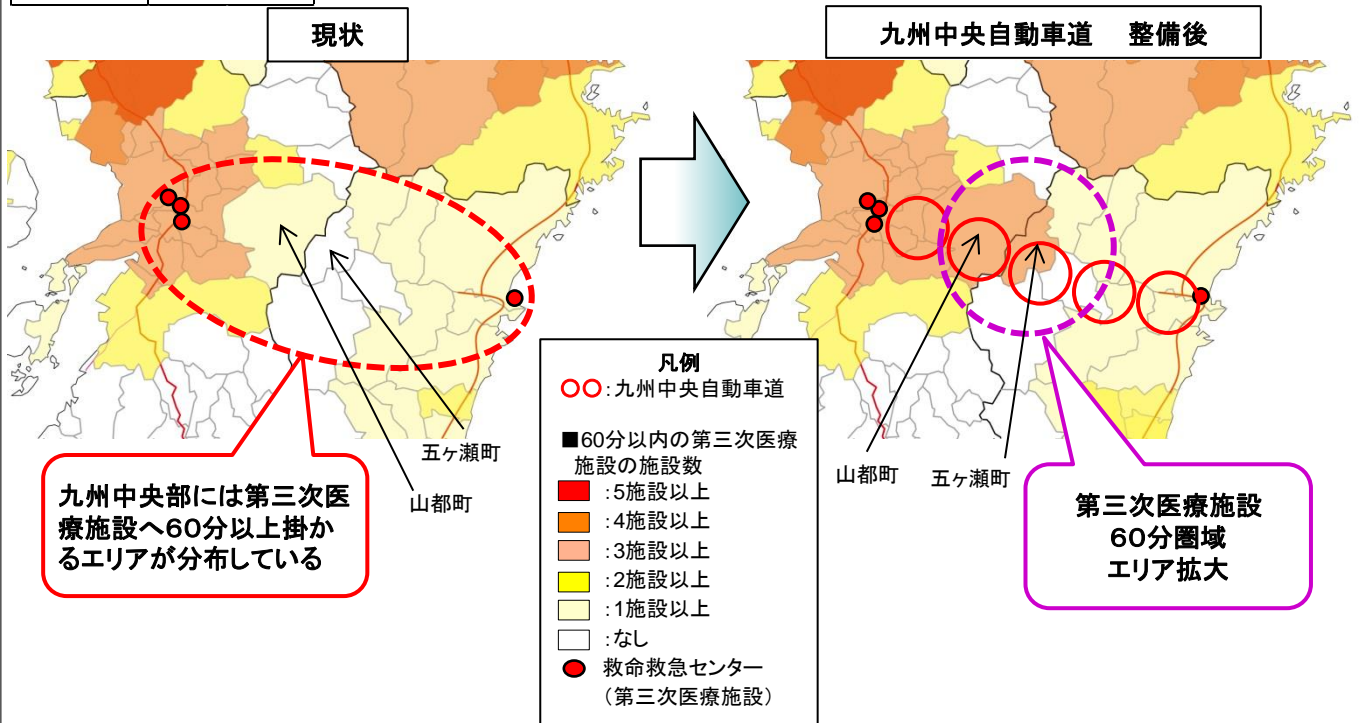


図2: 第三次医療施設60分圏域（現状→九州中央自動車道 整備後）

出典: 九州地方整備局HP

九州中央自動車道が開通すると、搬送時間の短縮だけでなく、搬送中の振動・揺れが少なくなるため、患者さんの苦痛を軽減し、容体悪化も防ぐことができます。

西臼杵広域消防本部

出典: 九州中央自動車道パンフレット



九州中央自動車道で熊本-延岡間のアクセス向上！地元産業の発展に寄与！

- 熊本県は九州でも製造業が集積している地域の一つで、製造業の事業所数及び製造品出荷額等は九州第3位。また、熊本県、宮崎県のスギ、ヒノキの算出額は国内約2割のシェア。丸太輸出は近年急増しており、八代港、細島港から全国の約2割を輸出。
- 九州中央自動車道により、熊本市～延岡市間のアクセスが向上し、熊本県のみならず、九州各地の工場等からのアクセス向上により物流効率化の貢献に期待！また八代港や細島港へのアクセス向上により、取扱貨物量が増加、出荷先の拡大、丸太輸出の増加に期待！

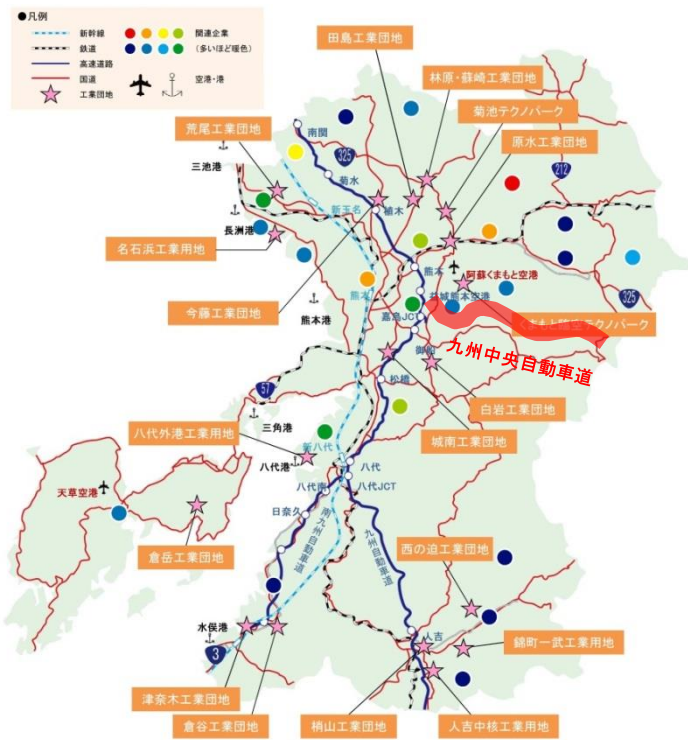


図1: 熊本県内の工業地帯と自動車関連産業の立地状況

出典: 企業立地ガイドKUMAMOTO

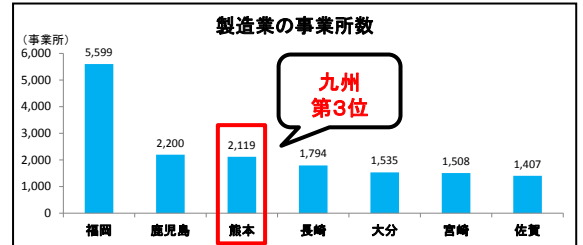


図2: 九州内の県別製造業事業所数ランキング

出典: 平成26年工業統計表

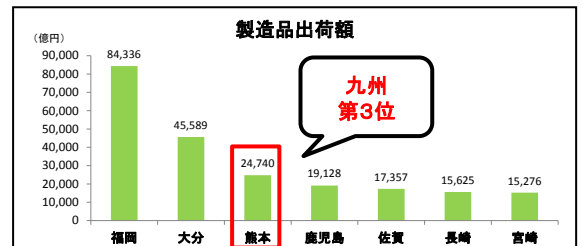


図3: 九州内の県別製造品出荷額ランキング

出典: 平成26年工業統計表

国内シェア 1位2位

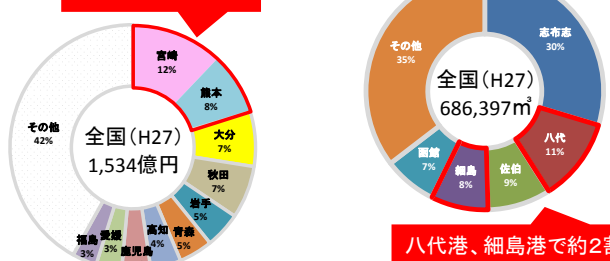


図4: 県別スギ・ヒノキ産出額

出典: 平成27年林業産出額

図5: 丸太の港別輸出実績

出典: 平成27年財務省貿易統計

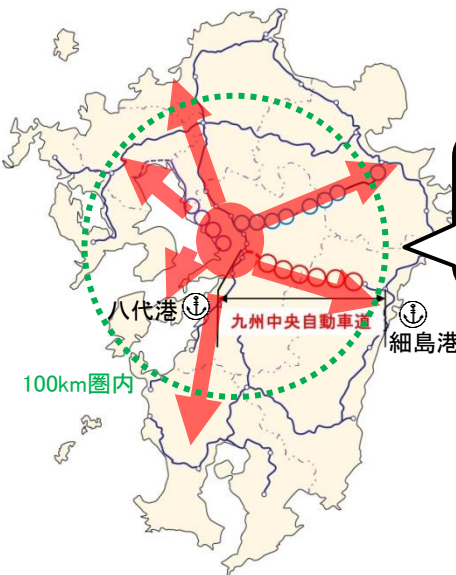


図7: 熊本からの100km圏内エリア拡大イメージ

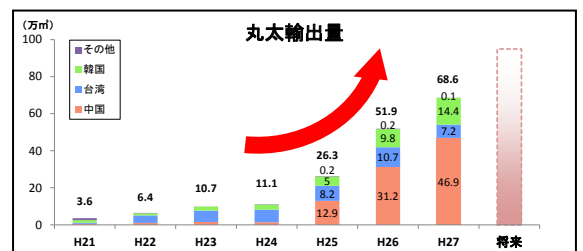


図6: 丸太の輸出国及び輸出量の推移

出典: 平成27年財務省貿易統計

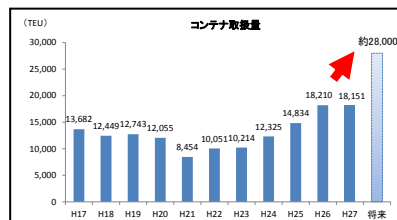


図8: 八代港のコンテナ取扱量

出典: 八代港ポートセールス協議会HP 八代市総合戦略

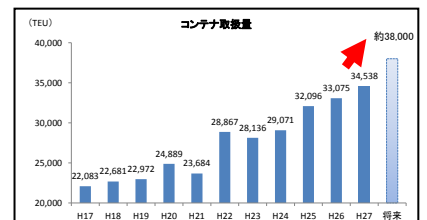


図9: 細島港のコンテナ取扱量

出典: 宮崎県日向市 細島港湾計画改訂 国土交通省HP

熊本・宮崎の農畜産物の出荷量拡大、 新たな農業参入者の増加に寄与！

- 九州中央自動車道の沿線地域はトマトやキャベツ等農畜産物の国内有数の主要産地。熊本県と宮崎県の農業産出額や農業法人数は増加傾向。
- 九州中央自動車道の整備により、農業の盛んな地域への交通アクセスが改善し(熊本～延岡間の所要時間が約80分短縮)品質向上、農業法人の更なる進出(設立)や農業産出額増加に貢献！

凡例

- 宮崎牛の整備後の搬送ルート(熊本方面) {高千穂→(九州中央自動車道)→(九州縦貫自動車道)→福岡方面へ}
- 宮崎牛の整備後の搬送ルート(延岡方面) {高千穂→(九州中央自動車道)→延岡IC→細島港方面へ}
- トマト・キャベツの現在の搬送ルート {国道445号→国道3号より熊本・福岡方面へ}
- トマト・キャベツの将来の搬送ルート {矢部IC→(九州中央自動車道)→嘉島JCT→御船IC→熊本・福岡方面へ}
- トマト・キャベツの生産地

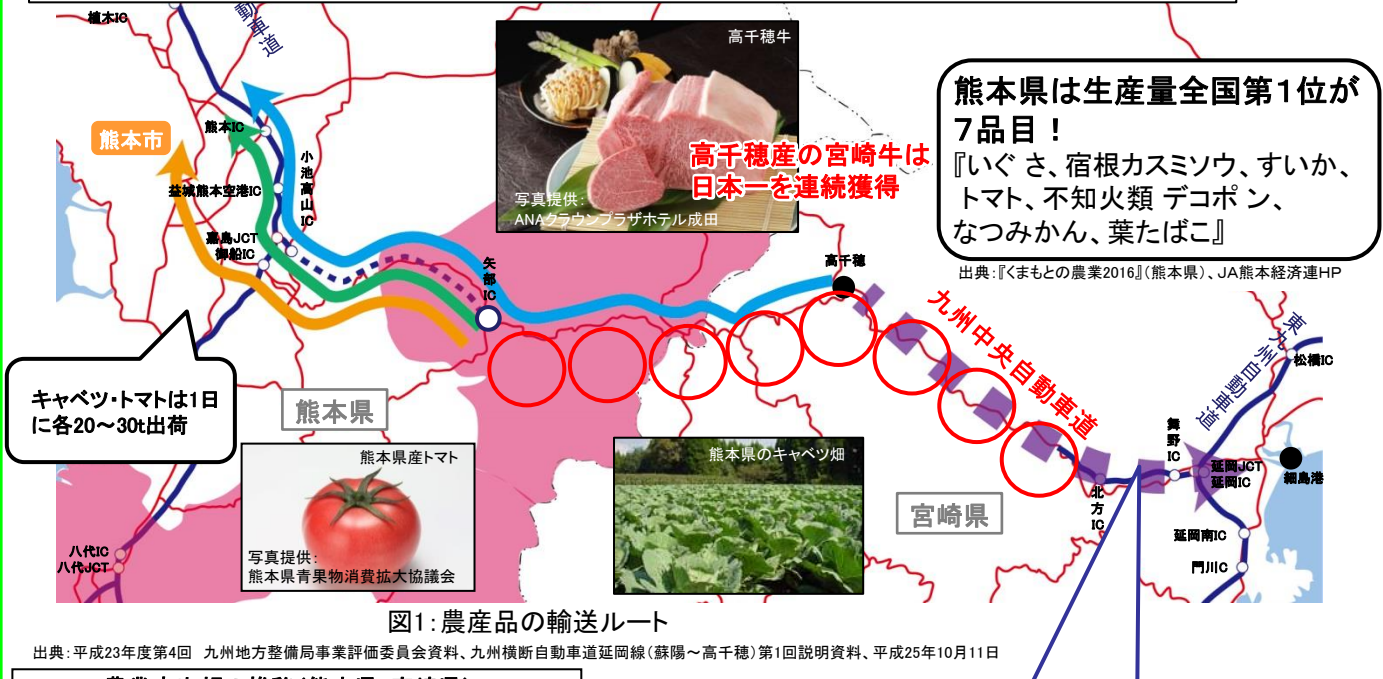


図1: 農産品の輸送ルート

出典：平成23年度第4回 九州地方整備局事業評価委員会資料、九州横断自動車道延岡線(蘇陽～高千穂)第1回説明資料、平成25年10月11日

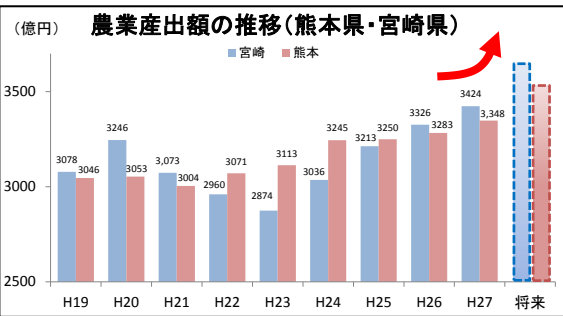


図2: 農業産出額の推移(熊本県・宮崎県)

出典：生産農業所得統計

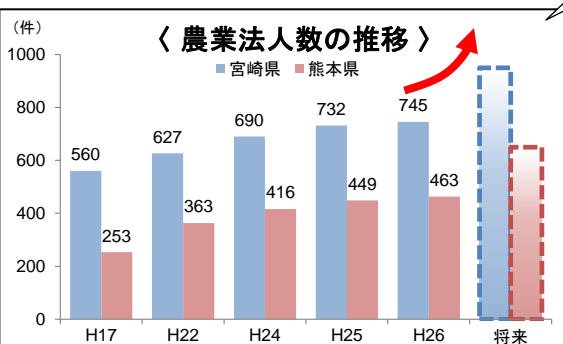


図3: 熊本県・宮崎県の農業法人の推移

出典：くまもとの農業2016 宮崎県農業・農村の現状等に関する資料(宮崎県)

九州中央自動車道の整備により、農業ビジネス環境が改善し、法人の設立が進展

急カーブ、急勾配は牛にストレスがかかり、品質ランクが1～2低下することがある

JA高千穂ヒアリングより

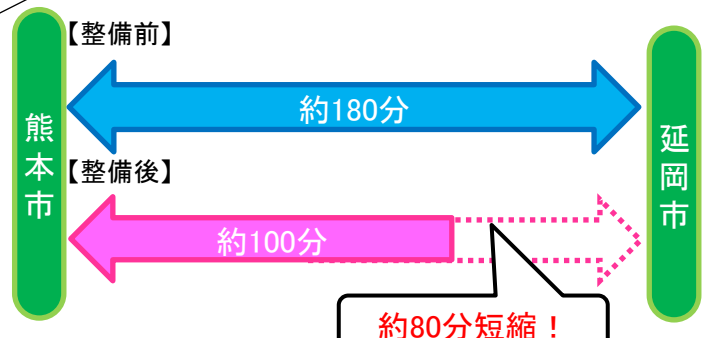


図4: 熊本市～延岡市の所要時間の変化

資料：平成23年度第5回 九州地方整備局事業評価委員会配布資料「九州横断自動車道延岡線(嘉島JCT～矢部)」

九州中央自動車道で新たな観光ルート形成や旅行者の満足度向上に寄与！

- 九州は大手旅行会社のパッケージ商品の主要ルートのアクセスが充実しているものの、熊本と宮崎方面を直接結ぶ観光ルートは存在しない。また、観光客が抱く宮崎方面の交通アクセスの悪印象は群を抜いている（観光客の約4割が宮崎の交通環境が良くないと回答）。
- 九州中央自動車道の整備により、熊本から年間入込客数が140万人を超える高千穂峡などの観光地へのアクセス性がよくなり、熊本－宮崎間の観光ルート形成や交通への悪印象改善に期待！



図1: 大手旅行会社のパッケージ商品の主要ルート

出典: 株式会社ジェイティービー「エースJTB2016 年春夏」